

記号	名称
21R	電磁弁<液>
H21	ボックスヒータ(常時通電)
26D	温度開閉器<除霜終了>
26H	温度開閉器<過熱防止>
X6	補助継電器<外部異常>
X7	補助継電器<圧縮機入力>
X8	補助継電器<除霜終了UC1>
X9	補助継電器<除霜終了UC2>
X51	補助継電器<除霜出力(予備)>
X52	補助継電器<除霜出力 UC1>
X54	補助継電器<除霜出力 UC2>
TH1	庫内温度センサ
※ELB	漏電遮断器
※NFB	ノーヒューズブレーカ
※52F	電磁接触器<送風機>
※88H1	電磁接触器<霜取ヒータUC1>
※88H2	電磁接触器<霜取ヒータUC2>

- 注1. ※印の機器は、現地手配となります。
 2. ---- 線は現地手配となります。
 3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
 4. 主回路配線・制御回路配線に沿わせないでください。
 5. 2心シールドケーブル(CVVS, CPEVS, MVVS)をご使用になりシールドアースを接続してください。
 6. 接触器ボックスの1, 7番間に、単相200Vの電源が印加されていればコンデンシングユニットとの接続は不要です。
 7. コンデンシングユニットの端子番号はMSAV-SN形の場合で記載しています。詳細はコンデンシングユニットの電気回路図を参照してください。
 8. ユニットクーラを2台接続する場合は、81A番と7番間の短絡線を外してください。詳細はコンデンシングユニットの電気回路図を参照してください。
 9. X51は除霜開始から除霜終了後の予冷運転完了までONになります。
 10. ユニットクーラとの接続は一例になります。現地ユニットクーラの配線図を参照し配線してください。
 11. 本図の配線を適用する際は、(表1)を参考にAC-100HQ接触器BOX内蔵基板のディップスイッチ設定を行ってください。
 12. コンデンシングユニットとコントローラをM-NET接続する場合は、(表2)に従い機種選定してください。

(表2)

コンデンシングユニット	コントローラ
ECOV形	AC-100HQ-UC1/2/3-HE/HM
	AC-100HQ-UC4-HE
	AC-100HQ-UC1-WE/WM
MSAV-SN形	AC-100HQ-UC2-GE

※表の組合せと異なる場合、M-NET接続はできません。
 ※MSAV-ST形はAC-100HQとM-NET接続できません。

(表1)

SW2	設定内容	設定
1	"除霜方式自動切替 OFF=無効、ON=有効"	OFF
2	使用しません	OFF
3	"コンデンシングユニットとの通信 OFF=無、ON=有"	ON
4	"サーミスタ切替 OFF=サーミスタ、ON=Pt100Ωセンサ"	OFF
5	使用しません	OFF
6	2-3のON/OFF設定と一致させてください	ON
7	使用しません	ON
8	"ホットガス除霜方式切替 OFF=無効、ON=有効"	OFF
9	"上位コントローラ切替 OFF=MELCOLD II、ON=AE-200J"	OFF
10	"リモコン操作ロック OFF=無効、ON=有効"	OFF

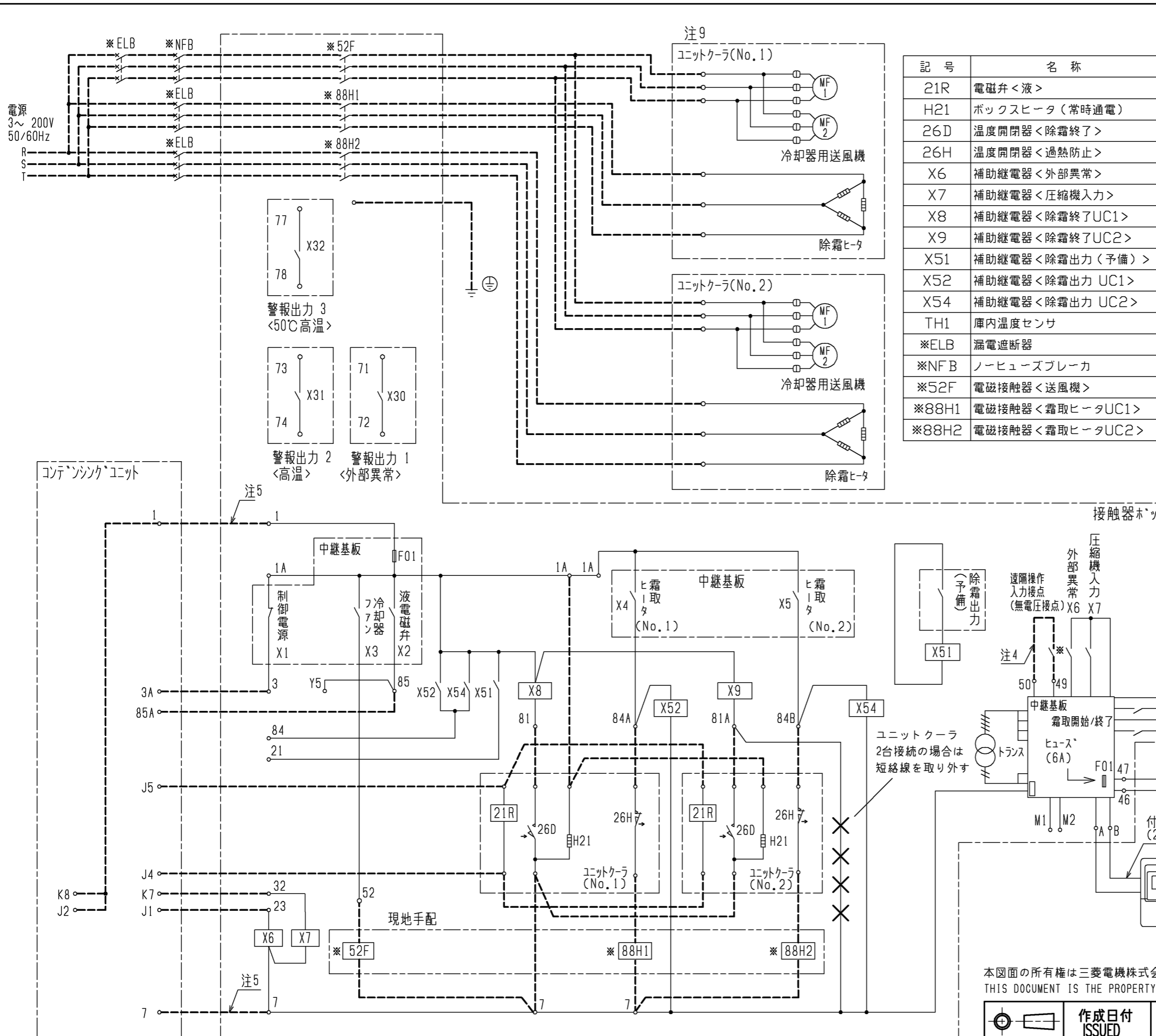
注意：SW2-3 コンデンシングユニットとの通信設定のON/OFFと連動して、自動的に初期値が切り替わるロータリースイッチ設定項目があります。詳細は据付工事説明書を参照ください。例：クーラ出入口温度センサ有/無設定

注. 製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
 THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R 度 SCALE DO NOT SCALE	作成日付 ISSUED	改定日付 REVISED	TITLE AC-100HQ-UC2-GE 伝送線(M-NET)接続 ヒータ除霜システム電気配線例 (コンデンシングユニットMSAV-SN)
	2023-10-03		
三菱電機株式会社			DWG.NO. W KA94C1GM
			REV. PAGE 1/1

この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器、ノーヒューズブレーカの設置とアース工事が必要です。



記号	名称
21R	電磁弁<液>
H21	ボックスヒータ(常時通電)
26D	温度開閉器<除霜終了>
26H	温度開閉器<過熱防止>
X6	補助継電器<外部異常>
X7	補助継電器<圧縮機入力>
X8	補助継電器<除霜終了UC1>
X9	補助継電器<除霜終了UC2>
X51	補助継電器<除霜出力(予備)>
X52	補助継電器<除霜出力 UC1>
X54	補助継電器<除霜出力 UC2>
TH1	庫内温度センサ
※ELB	漏電遮断器
※NFB	ノーヒューズブレーカ
※52F	電磁接触器<送風機>
※88H1	電磁接触器<霜取ヒータUC1>
※88H2	電磁接触器<霜取ヒータUC2>

- 注1. ※印の機器は、現地手配となります。
 2. -----線は現地手配となります。
 3. 接点の矢印は、圧力・温度が上昇した時の接点動作方向を示します。
 4. 主回路配線・制御回路配線に沿わせないでください。
 5. 接触器ボックスの1,7番周に、単相200Vの電源が印加されていればコンデンスユニットとの接続は不要です。
 6. コンデンスユニットの端子番号はMSAV-SN形の場合で記載しています。
 7. ユニットクーラを2台接続する場合は、81A番と7番間の短絡線を外してください。
 8. X51は除霜開始から除霜終了後の予冷運転完了までONになります。
 9. ユニットクーラとの接続は一例になります。現地ユニットクーラの配線図を参照し配線してください。
 10. 本図の配線を適用する際は、(表1)を参考にAC-100HQ接触器BOX内蔵基板のディップスイッチ設定を行ってください。
 11. コンデンスユニットとコントローラをM-NET接続する場合は、(表2)に従い機種選定してください。

(表2)

コンデンスユニット	コントローラ
ECOV形	AC-100HQ-UC1/2/3-HE/HM
	AC-100HQ-UC4-HE
	AC-100HQ-UC1-WE/WM
MSAV-SN形	AC-100HQ-UC2-GE

※表の組合せと異なる場合、M-NET接続はできません。
 ※MSAV-ST形はAC-100HQとM-NET接続できません。

(表1)

SW2	設定内容	設定
1	“除霜方式自動切替 OFF=無効、ON=有効”	OFF
2	“使用しません”	OFF
3	“コンデンスユニットとの通信 OFF=無、ON=有”	OFF
4	“サーミスタ切替 OFF=サーミスタ、ON=Pt100Ωセンサ”	OFF
5	“使用しません”	OFF
6	“2-3のON/OFF設定と一致させてください”	OFF
7	“使用しません”	ON
8	“ホットガス除霜方式切替 OFF=無効、ON=有効”	OFF
9	“上位コントローラ切替 OFF=MELCOLD II、ON=AE-200J”	OFF
10	“リモコン操作ロック OFF=無効、ON=有効”	OFF

注意：SW2-3 コンデンスユニットとの通信設定のON/OFFと連動して、自動的に初期値が切り替わるロータリースイッチ設定項目があります。詳細は据付工事説明書を参照ください。
 例：クーラ出入口温度センサ有/無設定

注. 製品の仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

本図面の所有権は三菱電機株式会社にある。
 THIS DOCUMENT IS THE PROPERTY OF MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION.

 DIMENSIONS ARE IN MILLIMETERS R 度 SCALE DO NOT SCALE	作成日付 ISSUED 2023-10-03	改定日付 REVISED	TITLE AC-100HQ-UC2-GE 接点接続 ヒータ除霜システム電気配線例 (コンデンスユニットMSAV-SN)
	 三菱電機株式会社		DWG.NO. W KA94C1GN REV. PAGE 1/1

この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器、ノーヒューズブレーカの設置とアース工事が必要です。